

2017 年度 A O 入試課題 (経済学部・B 方式)

◇課題の作成に当たっては別紙の注意事項に従い、作成してください。

課題

1990 年代末から 2000 年代の初めにかけて、日本では失業率の上昇・非正規雇用の増大など雇用環境の悪化が問題になっていました。現在、失業率は低下していますが、15~24 歳の若者の失業率が全体平均より高い状態が続いています。また、非正規雇用の増大も、ペースは緩やかになってきていますが、止まってはいません。

- (1) 非正規雇用が増大した原因を調べ、600 字以内でまとめてください。
- (2) 現在の日本の労働問題について具体的な問題を一つ取り上げ、その問題を改善するにはどうしたらよいかについて、自分の考えを 600 字以内でまとめてください。

※ゼミナールでは、課題の内容を他のエントリー者の前で報告したり、他のエントリー者と議論したりしてもらいます。そのための準備を行ってください。

作成上の注意事項

課題を作成するに当たっては以下の注意事項を守って作成してください。注意事項は裏面にもあります。

全体を通して

1. 作成に当たってはレポート用紙への記入は「手書き」でも「ワープロで作成したものを貼り付ける」のどちらでもかまいません。ワープロで作成した文書をプリントアウトして貼り付ける場合は、はがれないようにしっかりとのり付けしてください。
2. 課題に取り組む際には、インターネットや新聞・雑誌・本などで問題点について調べてください。ただし、これらの文章を書き写した(盗作した)場合は厳重なペナルティを課します。あくまでも自分の言葉で書いてください。

課題に関して

3. 問題点の説明は、高校の教科書やインターネット・新聞・雑誌・本などで問題点について調べてください。ただし、これらの文章を書き写した(盗作した)場合は厳重なペナルティを課します。できるだけ自分の言葉でまとめてください。
4. 自分の考えについては、どのようにすれば改善されるか、今後の日本経済はどのようなのかといった事柄を自分の言葉でまとめてください。
5. 課題の内容はゼミナールで 10 分程度、他のエントリー者の前で報告してもらいます。その準備を行ってください。
6. 課題を行うに当たって用いた資料を参考文献欄に必ず記入してください。記入の仕方は以下の通りです。

(新聞の場合)『北海道新聞』2015年12月31日付朝刊

(図書の場合) 平澤亨輔ほか著、「拓銀破綻後の北海道経済：地域再生と金融の役割」,
日本経済評論社,2008年

(教科書の場合)「政治・経済」,三省堂

(HPの場合) 環境省「環境経済成長ビジョン～チャレンジ 25 を通じた経済成長～」

<http://www.env.go.jp> (ホームページアドレスは” …… .jp” までを記入すること)

課題に関する質問の受付

7. 課題に関して質問がある場合、一度だけ受け付けます。レポート課題について、教員への直接問い合わせたい場合は、9月26日(月)から9月28日(水)までの期間に下記のメールアドレスから質問をしてください。なお、問い合わせ方法は、メールのみとします。件名欄に「AO 課題の質問」として、本文に質問内容を記入してください。

問い合わせ先 : asakawa@sgu.ac.jp

※経済学部の浅川が対応します。大学研究室のパソコンで使っているアドレスです。携帯電話からのメールの場合、パソコンからのメール受信を拒否する設定をしていると、浅川からのメールを受信できませんので設定を変更してください。